

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	施設維持管理費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	大生郷特定公共下水道事業特別会計	款	1	項	1	目	1	事業	2
担当部	都市建設部	担当課	下水道課	担当係	管理係	係	作成者	林 登志彦	内線(電話番号)	2910	シート作成日	H30.10.12	部長決裁日	H30.10.23		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市都市計画マスタープラン)		根拠法令及び市条例等 <input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 下水道法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)													

2 事務事業の目的 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	昭和56年供用開始の大生郷終末処理場は、平成24年に施設の改築工事が完了したが、経年劣化に伴う機械・電気設備の更新及び管渠の更新の時期を向かえる。	誰・何を対象に どのよう な方法・ 手順で	工業団地に存する企業の健全な操業環境の保全 ストックマネジメントの計画を策定し、維持管理・改築修繕を一体的に進め、施設・設備の最適化を図る。	望ましい状態	ストックマネジメントについては実施状況に応じた実施方針の継続的なブラッシュアップが必要であり、ストックマネジメント実施方針のブラッシュアップと同時期に事業計画を変更し、双方の整合を図っていくことが望ましい。
------	---	--------------------------------	---	--------	---

3 事務事業の主たる成果指標 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方 (又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	下水道は生活に欠かせない重要なライフラインのため、短時間の機能停止もゆるぎない施設である。
-----	------------	----	---	-----	-----	------	----	----	---	---

4 事務事業の実績 ㊦ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度								
	業務名	活動量	活動量	業務名	活動量	活動量	業務名	活動量	活動量						
事務事業を構成する主な業務	① 修繕業務	8件	① 修繕業務	5件	① 修繕業務	5件	① 修繕業務	5件	① 修繕業務						
	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務						
	③ 委託業務	6件	③ 委託業務	7件	③ 委託業務	7件	③ 委託業務	7件	③ 委託業務						
	④		④		④		④		④						
	⑤		⑤		⑤		⑤		⑤						
	⑥		⑥		⑥		⑥		⑥						
	⑦		⑦		⑦		⑦		⑦						
	⑧		⑧		⑧		⑧		⑧						
	⑨		⑨		⑨		⑨		⑨						
	⑩		⑩		⑩		⑩		⑩						
	⑪		⑪		⑪		⑪		⑪						
	⑫		⑫		⑫		⑫		⑫						
目標値に対する実績値			365 日	目標値に対する実績値			365 日	目標値に対する実績値			365 日				
決算額	計	58,324,806 円	内訳	特定財源	52,275,659 円	計	56,725,914 円	内訳	特定財源	54,946,837 円	計	60,000,695 円	内訳	特定財源	52,930,196 円
				一般財源	6,049,147 円				一般財源	1,779,077 円				一般財源	7,070,499 円
				(住民一人あたりの行政コスト)	943 円				(住民一人あたりの行政コスト)	933 円				(住民一人あたりの行政コスト)	992 円

5 担当者評価 ㊧ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	目標どおり	内容	予防修繕業務や検査・分析業務等の結果を委託業者と共有化することで、より安定した水処理を継続して行うことができた。
問題点	施設の補修・改築等を行いながら、維持管理費の軽減を図っていく。		

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性 拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由
既存の施設設備・機器の適切な維持管理に努め、老朽化し運用に支障をきたす設備・機器の更新を計画的に実施し、処理場機能の正常運用と保全を継続させなければならない。運営コストや供用人口減に伴う運営費の減少など将来を見据えて、生活排水ベストプラン等による、施設の共同化・広域化・統廃合についても計画的に進める必要がある。

7 実施計画 ㊩ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。

年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場1-3号回転円板修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 電気保安管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 電気計装機器保守点検委託業務, 警備委託業務, 環境整備委託業務 			<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場2-3号回転円板修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 警備委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 電気保安管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 電気計装機器保守点検委託業務, 環境整備委託業務 			<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場2-4号回転円板修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務, 汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務, 警備委託業務, 火災報知機等保守管理委託業務, 電気保安管理委託業務, 汚泥処分委託業務, 電気計装機器保守点検委託業務, 環境整備委託業務 			
	歳出	計	61,639 千円	歳出	計	69,756 千円	歳出	計	71,409 千円	
	予算額		特定財源	53,227 千円		特定財源	53,227 千円		特定財源	53,227 千円
		歳入	一般財源	8,412 千円	歳入	一般財源	16,529 千円	歳入	一般財源	18,182 千円
		計	61,639 千円		計	69,756 千円		計	71,409 千円	

8 財務アドバイザーの見解

本事務事業は、特定財源のみによる事務事業である。今後も特定財源のみにより、無駄を省き、費用対効果を最大化する予算の計画と執行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。今後も、計画的に補修や改築を進めていただきたい。

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪

事務事業の方向性 拡充 現行どおり 縮小 休止・廃止

評価理由
経営成績や財政状況を把握しながら、処理場機能正常運用と保全に努めること。

11 事務事業の改善理由 ㊫ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容
最終評価を踏まえ、更なる事業の見直しを行った。